

避難所等に避難する場合の注意

避難時に
注意すること

訓練 台風シーズンの前に訓練をしましょう!

「訓練マーク」がついている項目は、台風シーズン前に家族や地域の皆さんで確認したり訓練を実施しましょう。

1 避難の種類①: 立ち退き避難 (水平避難)

避難にあたっては市指定の避難所へ向かうことにこだわらず、浸水しない地域の知人宅や、頑丈な建物の上階に避難するなど、自らの判断で最善の安全確保行動をとることが重要です。自宅においては危険と判断したら、避難所など安全な建物に早めに避難しましょう (水平避難)。



訓練

! 水害の場合、がけ・増水した川・海岸付近の避難所は開設されない場合があります。その時の状況に応じて、市が開設する避難所をご活用ください。

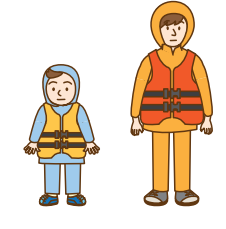
2 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意



長靴や素足は危険です。運動靴をはきましょう。



長い棒をつえ代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。



ライフジャケットがあると安心です。

訓練

3 避難所でのマナー

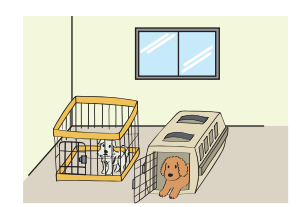
災害時に開設される避難所は、さまざまな人が一定の期間過ごすこととなります。他の人が不快に感じるような言動は控えましょう。みんなで協力しながら避難所で過ごすことが大切です。



4 ペット(犬・猫)との避難

市では災害時に飼い主がペットを連れて、避難所へ避難する「同行避難」と「同伴避難」の2種類を準備しています。ペットと安全に避難できるようにペット用の備蓄品も用意しておきましょう。

<ペット同行避難>
人とペットが避難所内の別の空間で生活を送ること



※同行避難は、主に小中学校

<ペット同伴避難>
人とペットが避難所内の同じ空間で生活を送ること



※同伴避難所のみ

訓練

避難所に行くことができなかった…… 自宅で避難する場合の注意

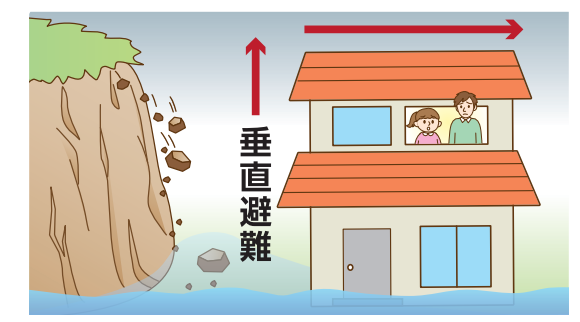
1 周囲が浸水してからの自宅外避難は危険ですのでやめましょう

水害時の避難行動の目安として「避難行動判定フロー(p.16)」を確認してください。

2 避難の種類②: 垂直避難

周囲が浸水している場合は、自宅の高い所に移動しましょう (垂直避難)。自宅近くにがけがある場合は、なるべくがけから離れた上の階に移動しましょう。地下室や低い場所での避難は避けましょう。水圧でドアが開かなくなり危険です。

訓練



がけの反対側の上階へ避難



低い場所での避難は避けましょう!

3 停電したら、断水したら、ガスが止まったら……

備蓄食料を食べる際には、食べる順番を工夫すると、より長期間食料を確保することができます。



- ①まず、冷蔵庫内の食品から! 停電すると食材がわるくなってしまいますので、先に食べましょう。
- ②次に買い置き食材 保存期間が短い買い置き食材を食べましょう。
- ③最後に災害用備蓄食品 長期間保存できる災害用の非常食は、最後に食べましょう。

ライフライン情報 (千葉県防災ポータルサイト)

電気・ガス・水道などの状況を確認できます。
http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/X_PUB_VF_LifeLineInformation



平常時の備え

大雨前の備え

避難前に確認すること

避難時に注意すること